※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習の到達度は、「ペン習字の基礎」やプリント、実技作品で評価する。
・文字を整えて読みやすく書けるようにする。
・楷書・行書の書体の書き方を身に付け、実生活で役立つ力を身に付ける。

2　学習の到達目標

(1) 日常生活の中で必要となる文字の基礎的な技能を身に着ける。
(2) 実際に習った用筆を使用し、文字の大小や字形、全体構成の整え方を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理科している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基本点画	平仮名･カタカナ	a. 書体を構成する様々な要素について理解している。 b. 効果的な表現の技能を身に付けている。 c. 手書き文字のよさを甘受し、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
	楷書・行書の基本点画	横画 縦画 止め はね 払い 点画の省略や筆順の変化(行書)	a. 楷書や行書の用筆・運筆について理解している。 b. 基本的な用筆・運筆の技能、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 c. 手書き文字のよさを甘受し、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
	手紙・ハガキ・一筆箋	地名・住所 名前 手紙の書き方	a. 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b. 生活や社会における書の効用について理解している。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体駅に取り組もうとしている。	作品	作品	観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	筆ペン	名前 のし袋 創作	a. 筆ペンによる表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b. 生活や社会における書の効用について理解している。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体駅に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
	年賀状	年賀状	a. 筆ペンによる表現効果や風趣との関わりについて理解している。 b. 生活や社会における書の効用について理解している。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体駅に取り組もうとしている。	作品	作品	観察
3学期	感謝状	感謝状	a. 感謝状の書き方・表現効果について理解している。 b. 生活や社会における書の効用について理解している。 c. 自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体駅に取り組もうとしている。	作品	作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度